



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2012～2013年度 RI会長 田中 作次
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カ・ラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

第1105回 例会
2011.09.07(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:久保栄子君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 太田政人君



先週の例会は高野ガバナーの公式訪問でした、例会に先立ちガバナーとの懇談がありました。ガバナーからせせらぎ三島RCの特徴はどの問かけがありましたので、三年後の自分への手紙、タイ国への放置自転車贈呈、大槌町の児童への図書贈呈事業プロジェクトを説明いたしました、ガバナーにはアクティブなクラブと良い評価をしていただきました。

最後にガバナーより職業分類の棚卸しをしてはどうかの提案がありました、職業分類を一度リセットし新しく組みなおせば会員拡大に繋がるのではと、今後クラブで検討したいと思います。

9月2日御殿場の東山荘にて2620地区派遣学生帰国報告会及び受け入れ学生ホームカントリー紹介がありましたので石井幹事と共に出席してきました。

受け入れ学生は3名でドイツからのレオニーさん(16歳)は浜松南RCが、アメリカからのケイトさん(17歳)は甲府北RCが、ベルギーからのルトガー君(18歳)はパワー浜松RCが受け入れます。ベルギーのルトガー君は前年度の予定でしたが、東日本大震災、原発事故により一旦断念して大学へ進学しました、しかし日本への想いは強く再三、田中作治さんに働きかけ漸く今年度の派遣学生に選ばれました。この3名は日本語を交え各々自己紹介とホームカントリー紹介を15分程度行いました、1年後には日本語が堪能になり日本をよく理解するようになるでしょう。自国に帰って日本との友好の懸け橋になることを期待します。3名は明日の富士登山を楽しみにしていましたがどうだったでしょうか？

続いての派遣学生帰国報告会ではパワー浜松RCの堤菜央さんはベルギー、浜北伎倍RCの鈴木満貴さんはアメリカ、浜松南RCの夏目真衣さんはフィンランド、浜松東RCの 武田陽太郎君はアメリカ、甲府北RCの西中山祐

君はドイツに派遣されこの度帰国しました。各々15分の報告では、派遣先の体験を披露しましたが皆が皆感謝の気持ちを忘れずにすばらしいスピーチでした、1年間の異文化に接した経験は彼らを大いに成長させたので、これからの長い人生での貴重な体験となりました彼らは国際理解と平和を推進することに欠かせない人材です、このような人材を発掘・育成するこの事業はロータリーの特筆に価する事業だと思えます。

なお、2012-2013年度派遣学生3名はすでにドイツ、アメリカ(2名)に出発していました。

おめでとう

会員誕生日 9月6日 宮澤正昭君

入会記念日 7月29日 田中錦城君

委員会報告

米山運営委員会

矢岸貞夫君

米山梅吉記念館秋季例祭のお知らせ

○日時:平成24年9月15日(土)14時～

○場所:米山梅吉記念館ホール

講演「私の登った外国の山々」

講師 渡辺玉枝氏(アルピニスト)

本年5月73歳でエベレスト再登頂

世界女性最高齢登頂記録を更新

アトラクション:ひとり語り「藤十郎の恋」

大塚良重氏(女優)

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	22/35	62.86%	30/35	85.71%
今回	27/34	79.41%	会員総数	35名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

大房君、小島君、杉山(順)君、中山君、服部君、山口(雅)君、山本(章)君

1. 概要

本活動は、当クラブ20周年記念事業として実施されています。本年度は4年目となります。活動内容は、三島市・函南町の小学校5年生に「3年後の自分へ」というタイトルで手紙を書いてもらい、3年後の中学2年時の夏休みに本人に送り返すといものです。その目的は、中学2年生の、“何かと不安定な時期”に、3年前に書いた自分からの手紙を受け取ることで、将来設計の一助としていただこうとの考えで始めた活動であります。

当時、現在でもゴルフ界で活躍している石川遼選手が、小学校6年生の時に書いた卒業文集「将来の自分」という文章が話題になりました。彼はその中で、「2年後には日本アマ出場、4年後には日本アマ優勝、6年後には日本オープン優勝……」など、具体的な目標を立て、日々目標に向かって努力していることが紹介されました。その後の石川選手の活躍ぶりをご周知のとおりであります。

当クラブでは、かねてより“青少年育成活動”を積極的に進めてきており、表記プロジェクトを発案し、実施しているところでもあります。

2. 活動状況

1年間の活動状況

- ① 本活動主旨の校長会幹事校長への訪問説明。
- ② 原稿用紙、返信封筒の配布
- ③ 手紙の回収
- ④ ロータリー事務所での保管
- ⑤ 次年度用活動事前調査(三島市 函南町 教育委員会)
- ⑥ アンケートはがきの作成

3. 初めての返送及び反響

本年7月、初年度に回収した手紙を返送した。三島市及び函南町の児童数、約1400名に対し、回収した手紙は約1100通であり、一部住所変更の申し出を受けた手紙を含め返送したが約70通の手紙が本人に到達することができなかった。また、返送した手紙には、アンケート用紙を同封し、受け取った中学2年生がどのように感じたかの調査も併せて行っています。現在、アンケート用紙の回収は、85通程度であります。

4. アンケート結果

別表のとおり

3年後の自分への手紙プロジェクトを実施して思うこと

岡 良森君

1. コスト面からみた本事業

(1年目)

原稿および返送用封筒 約1400セット
 保護者への通知文書 約1400枚
 実施要綱の配布 約70セット

(4年目)

発送用ゼロケース 約1100枚
 郵便料金 約1100件×65円(割引制度活用)
 アンケート用紙代 約1100枚
 返送分郵便料金 約100通×60円・

※本事業 14万～15万円必要・

2. 学校現場の実情

本事業を主体的に行っていただいているのは、各小学校5年の担任の先生方である。毎年7月に実施される校長会(小中全校長による会合)で代表校長から趣旨説明をしていただいた後は、担任の先生が主役となる。各先生の判断において、夏休みの宿題として、各児童に書かせたり、または、授業の一部に組み入れて書かせているとのことである。

夏休みの児童への課題は、本来の教育上課しているものの他、当クラブと同様、各種団体からの依頼等により行うものが少なくない。絵画コンクールへの出展要請、標語の募集、何とか体験への参加要請などなど。これらすべて対応すると、夏休みが無くなるほどの負担が児童に掛かるといった意見もありました。

3. 教育委員会の立場

小中学校を管理する立場にある教育委員会の立場も微妙である。昨今の教育現場における様々な問題に対処しながら、学校の管理、文科省からの方針伝達等本来業務が錯綜する中、前項のような各種団体からの依頼案件の実施是非の判断等、忙殺されております。総論賛成ながら、実務支援は遠慮したいと考えても不思議ではありません。また、単年度でなく、継続するとなれば、人事異動も踏まえ、引き継ぎ関係にも配慮する必要が生まれることとなります。

4. 当クラブ運用面での問題

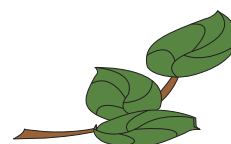
本事業を実施するには、工程数が多く、当該担当には多少なりとも負担がかかります。教育委員会への根回し、代表校長への挨拶訪問趣旨説明、原稿の各学校への振り分け配達等々。効率よく事業を運用するためには、本年の7月第3例会で実施したように会員総出で行うことで解決できると考えられますが、毎年、7月と翌年6月の2回程度は小一時間程の作業(皆さんで行った場合)を必要とします。

5. 感想

アンケート結果(各生徒の感想)を読んで、この事業が意義のある事業であることは疑念の余地がないと考えます。アンケートをいただけなかった生徒にどれだけの影響を与えているのかという点については若干の考察が必要かもしれません。

また、「宛所なし」で返戻された手紙(約7%)に対する思いもあります。(単に転居等の理由なのか、児童の書き損じが原因なのか、はたまた、特別な事情により、受け取らない、受け取れない事態があるのか等) さらに、アンケート結果を苦労していただいた担任の先生や、校長先生、そして教育委員会に報告できればと思慮します。

事業の有効性が認識されれば、関係者の協力も得られやすいばかりか、実施率、配達率、アンケートの返送率にも跳ね返り、さらに良い事業に発展すると考えられますし、そのことが、引いては、心身の健康なこどもの増加につながり、明るい未来に繋がればと思います。



スマイルボックス

山口辰哉君:先日の家族会、岡委員長、担当の遠藤さん、お疲れさまでした。自分ひとりでは行こうと思わないところに連れてっていただきありがとうございました。澤田さんが宮内庁主催の『秋の園遊会』に招待されたそうです。おめでとございます。あとは横綱審議委員になるだけです。

杉山 隆君:先日は家族例会お疲れ様でした。親睦副をやらせていただいているにもかかわらず岡さん、遠藤さんにおんぶにだっこで申し訳ありません。日頃家族と一緒に行動出来ていなかったのがチビ達はたいへん喜んでおりました。ありがとうございます。

小林 勝君:本日は社会奉仕委員会の卓話です。よろしくをお願いします。

久保栄子君:本日、途中退席します。申し訳ございません！

遠藤修弘君:東京スカイツリーへ皆様のご協力のもと事故もなく無事に行ってこれました。ありがとうございました。この家族会でのみなさまの心の温かさに感謝しています。親睦っていいですね。

中村 徹君:明日、JRIC(ジェーリック)の総会へ出席して来ます。米山記念館の館報を届けて宣伝して来ます。

西原克甫君:今年もメーカー協賛にて紳士服の展示予約会を来週の9月14日、15日の金、土曜日2日間、「しらゆり」のお店にて開催しておりますので是非おでかけください。お待ちしております。

渡辺照芳君:受付に毎回貼ってある標語、ご苦労様です。賛同してスマイルします。

石井和郎君:岡さん、遠藤さん、家族例会ご苦労様でした。楽しいひとときを過ごせました。

家族会Bコース:8月26日の家族会での昼食を帝国ホテルでいただきました。洋食のコース料理でした。上品な料理が出てきて思わずスマイルしてしまいました。そして飲み代代の残金はこちらでスマイルします。

岡 良森君:先々週の家族例会沢山参加いただきありがとうございました。Aコース参加組でビールを飲んだ方の残金スマイルします。あっ内田さんだけビール代もらってないよ！

矢岸貞夫君:家族会参加の皆様お疲れ様でした。担当の皆様もご苦労様でした。9/15米山梅吉記念館での秋の例祭が行われます。詳しくは週報に載せますので宜しくお願いいたします。

石井司人君:家族会、ガバナー訪問皆様ご苦労様でした。



今日の料理

第4回理事役員会報告

平成24年9月7日 金曜日・19時40分～20時20分
ブケ東海三島

出席者 太田政人・石井邦夫・
加藤正幸・兼子悦三・山本良一・
宮澤正昭・根津延和・渡邊照芳・
小林 勝・石井司人・岡 良森・

欠席者 久保栄子 山口雅弘

オブザーバー 土屋 巧

司会者・石井司人・記録者・加藤正幸・

①地区大会出席の件

10月・11月に出席メンバー確認

②新会員研修会の件

10/16甲府にて3年以内の新メンバーに出席のお願い・

③大槌町訪問の件

9月11・12日、8名にて訪問 12日に大槌町例会に出席。書籍購入金贈呈する。なお一部クラブより負担金だす。子供向けにDVDを贈呈経費は奉仕プロジェクト残金よりあてる。承認

④タイ自転車贈呈について経過報告の件

チェンマイにて日本領事館より食事会の接待を受ける予定 式典は23日、一部経費クラブより負担金出す承認

⑤その他

①地区大会でのクラブ紹介・写真5枚(大槌町訪問時)
+写真説明・クラブ活動報告・
3事業について150文字程度会長より提出・

